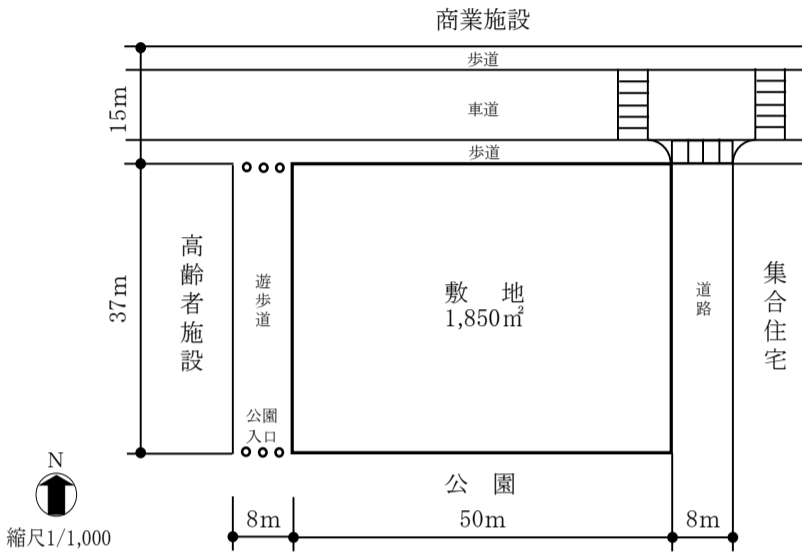


## I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の市街地において、子ども・子育て支援センターを計画するものである。本施設は、保育所、児童館・子育て支援施設からなり、待機児童解消に寄与し、子どもの育成支援、子育てに関する情報の提供や相談等を行うとともに、様々な世代の地域住民が利用できる多目的ルーム、ふれあいガーデンを設けて、世代間の交流により子どもや子育て中の親子を支援できるようにする。

### 1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、第一種住居地域及び準防火区域に指定されている。また、建ぺい率の限度は70%(特定行政庁が指定した角地における加算を含む。)、容積率の限度は300%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は、表層が盛土で、深度1.5mから10m付近までは過圧密状態にある粘性土層(N値8~10が主体)で構成され、深度10m以深においては地層の厚さが5m以上の砂礫層(N値50以上)であることが確認できている。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



### 2. 建築物

- 構造、階数等  
 構造種別は自由とし、地上3階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計  
 床面積の合計は、1,900㎡以上、2,300㎡以下とする。  
 この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段及びエレベーターシャフト等は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室  
 下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
・保育所の入所定員は40人、受け入れ対象は0~5歳児とし、保育士の数は8人とする。 ・保育所部門の乳児室・ほふく室、保育室又は遊戯室は1階又は2階に計画するものとし、2階に設ける場合には、保育所部門に避難用の屋外滑り台を設ける。			
保育所部門	乳児室・ほふく室	・0歳児及び1歳児を対象とする。 ・沐浴室、調乳室を設ける。	約40㎡
	保育室	・幼児(2~5歳児)用として4室(約40㎡/1室)設ける。 ・屋外遊戯場との動線に配慮する。	計約160㎡
	遊戯室	・ステージを設ける。 ・天井高は5m以上とする。	約100㎡
	幼児用トイレ	・幼児用シャワー室を設ける。	
	受付ホール	・乳幼児の保護者が送り迎えを行う保育所の入口とし、共用部門のエントランスホールからアクセスする。 ・下足箱、ベビーカー置場を設ける。	
	管理事務室	・6人分の事務スペースを確保する。 ・保育所部門の運営及び施設全体の管理を行う。 ・受付カウンターを設ける。	適宜
	保育士控室	・男性用及び女性用の更衣スペースを設ける。	
	医務室		
児童館・子育て支援部門	多目的ルーム	・無柱空間とし、天井高は5m以上とする。 ・子どもが運動等を行うプレイルームとし、裸足又は室内履きで利用する。 ・1階に計画し、様々な世代の地域住民の交流イベント等にも利用できるようにする。	約250㎡
	児童図書室	・受付カウンターを設ける。	約70㎡
	集会室	・児童の集会等に利用する。	約50㎡
	児童クラブ室	・小学校に就学している児童を対象とした「放課後児童クラブ」に利用する。 ・おやつは保育所部門の調理室で調理する。	約50㎡
	子育てひろば	・子育て中の親子同士の交流や情報交換の場とする。 ・下足箱、授乳室、幼児用便所を設ける。	約100㎡
	研修室	・子育てや子育て支援に関する講習会等に利用する。 ・2室に分割して、それぞれ個別に利用できるようにする。	約100㎡
	子育て相談室	・2室設ける。	
	児童館事務室 スタッフルーム ボランティア室	・放課後児童支援員、事務員の計4人が使用する。 ・子育て支援スタッフ3人が使用する。	適宜
共用部門	エントランスホール	・まとまったスペースの吹抜けを60㎡以上設ける。 ・吹抜け部分は梁を設けない構造計画とする。 ・風除室を設ける。 ・保育所部門と児童館・子育て支援部門との共用とする。	適宜
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	
・便所、倉庫及びゴミ置場については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

### 3. その他の施設等

- 屋外遊戯場(保育所の幼児の遊び場をいう。)を、次のとおり計画する。
  - 地上に設けるものとし、まとまったスペースで200㎡(直径8mの円が1つ入るスペースとする。)を確保する。
  - 保育室との動線に配慮する。
  - 砂場、ぶらんこ、滑り台、鉄棒、足洗場等を設ける。
- ふれあいガーデン(様々な世代の地域住民の交流の場をいう。)を、次のとおり計画する。
  - 地上に設けるものとし、まとまったスペースで150㎡を確保する。
  - 植栽を計画し、通路、ベンチ、テーブル等を設ける。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、車椅子利用者用として1台分、サービス用として2台分を設ける。なお、施設利用者及び職員用の駐車場は、近隣の公共駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- 駐輪場は、施設利用者用として30台分を設ける。
- (1)~(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

### 4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 敷地の周辺環境に配慮する。
  - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
  - 保育所部門、児童館・子育て支援部門及び共用部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
  - パッシブデザインを積極的に取り入れて建築物を計画する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性に配慮する。
  - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
  - 地盤条件を考慮して基礎構造を適切に計画する。
  - 部材の断面寸法を適切に計画する。
  - 天井の高い居室においては、天井等落下防止に配慮して計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設けるとともに、環境負荷低減に配慮する。
  - エレベーターを適切に設ける。

## II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。(※答案用紙Ⅰは、A2サイズの5mm方眼用紙)

### 1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示してもよい。

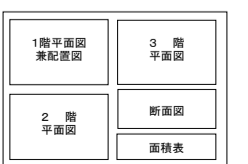
図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積 ニ. 設備シャフト〔パイプシャフト(P S)、ダクトスペース(D S)、電気シャフト(E P S)〕の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース ヘ. 断面図の切断位置 ト. 要求室の特記事項に記載されている什器等 ② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 屋外遊戯場の面積、砂場、ぶらんこ、滑り台、鉄棒、足洗場等 ロ. ふれあいガーデンの面積、植栽、通路、ベンチ、テーブル等 ハ. 建築物の出入口 ニ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ホ. 通路・植栽等
(2) 2階平面図 1/200	
(3) 3階平面図 1/200	
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、多目的ルームを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎(杭基礎とした場合には、その一部を含む。)、梁及びスラブの断面を図示する。

### 2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1~3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。(※算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

### 3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ふれあいガーデンの計画において、配置について考慮したこと
  - 多目的ルームの計画において、パッシブデザインの観点から自然採光、自然通風及び日射の遮蔽について考慮したこと
  - セキュリティについて考慮したこと
- 構造計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に設定した目標耐震性能(地震力の程度と建築物の状態)を示すとともに、これを達成するための建築物の構造種別、架構形式について考慮したこと
  - 建築物に採用した基礎構造の形式と採用した理由を示すとともに、基礎構造の構造計画について考慮したこと
  - 多目的ルームの天井の構造について、落下防止対策として考慮したこと
- 設備計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - エントランスホールの吹抜け部分において、採用した空調方式と吹出口・吸込口の計画について考慮したこと
  - 保育所部門の照明設備のエネルギー消費量の削減について考慮したこと
  - 設備スペースの計画において、設備機器の設置位置について考慮したこと



答案用紙Ⅰ図面レイアウト